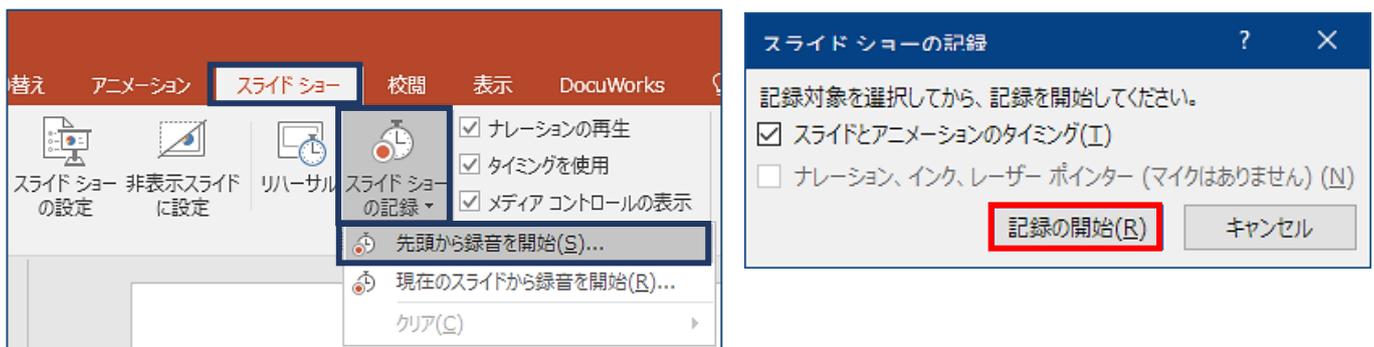


プレゼンテーションをビデオ (.mp4) に変換する手順

前提として、[ファイル] メニューで [保存] を選び、PowerPoint プレゼンテーション形式 (.pptx) で最近の作業がすべて保存されていることを確認してください。

ナレーションを録音する時は予めパソコンとマイクを接続し、スライドショーを実行しながら録音します。録音したナレーションはスライドごとに保存され、それぞれのスライドにサウンドのアイコンが表示されます。

① [スライドショー] をクリック → 記録の開始



[スライドショー] → [スライドショーの記録] の順に選択します。

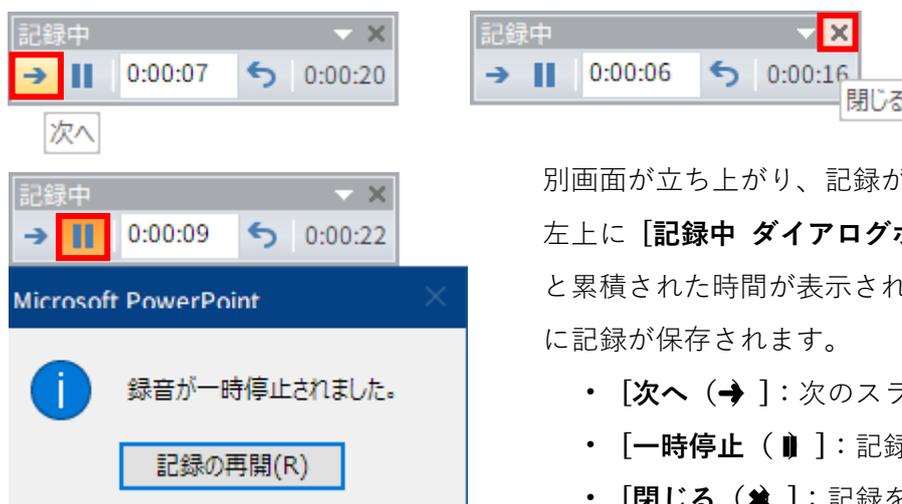
次の 2 つのオプションから選択します。

- [先頭から録音を開始]：プレゼンテーションの先頭から録音します。
- [現在のスライドから録音を開始]：特定のスライドから録音します。

記録対象を選択して、[記録の開始] を選択します。

(マイク等の周辺機器が接続されていないと、下のナレーション～の項目が選択できませんので、**ナレーションを録音する時は予めパソコンとマイクを接続してください**)

② 記録の管理

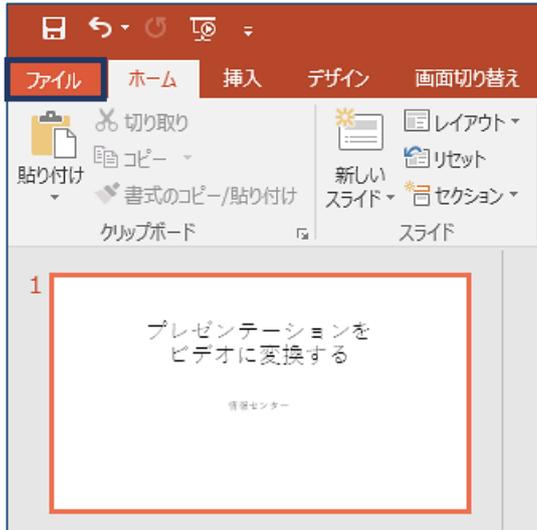


別画面が立ち上がり、記録が開始されます。

左上に [記録中 ダイアログボックス] が表示され、記録される時間と累積された時間が表示されます。スライドショーを終えると自動的に記録が保存されます。

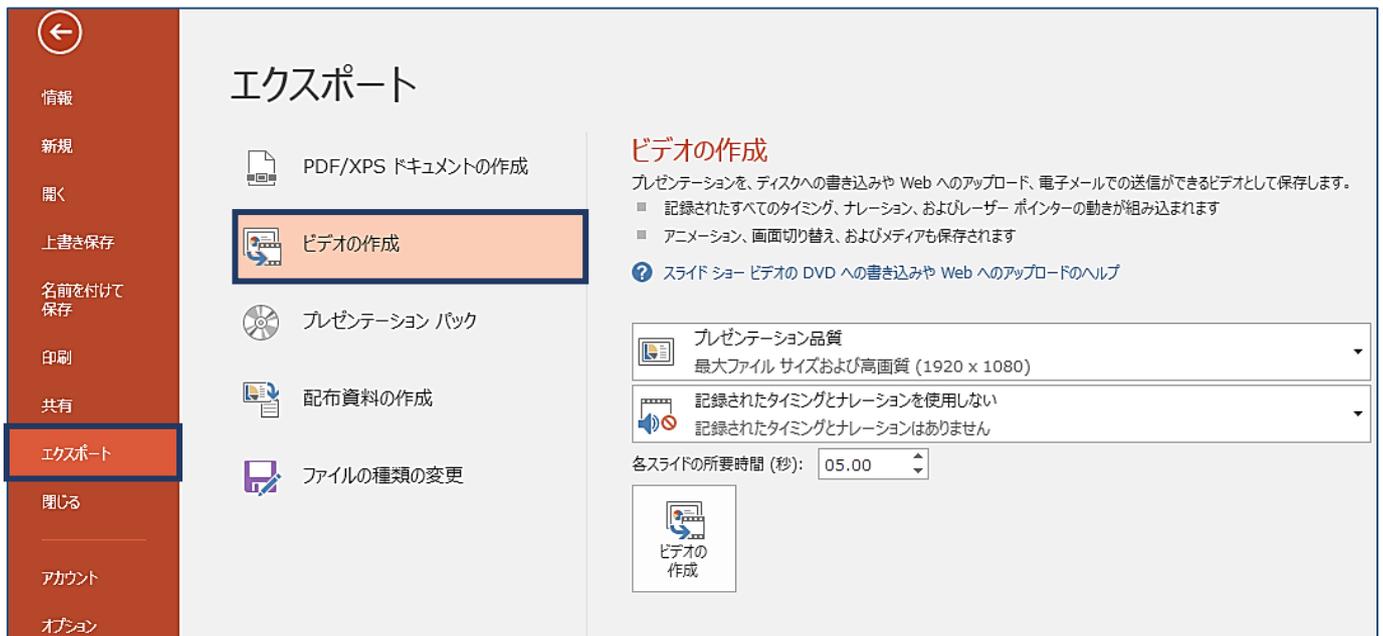
- [次へ (→)]：次のスライドへ移動します。
- [一時停止 (⏸)]：記録を一時停止します。
- [閉じる (✖)]：記録を終了します。

3 [ファイル] をクリック



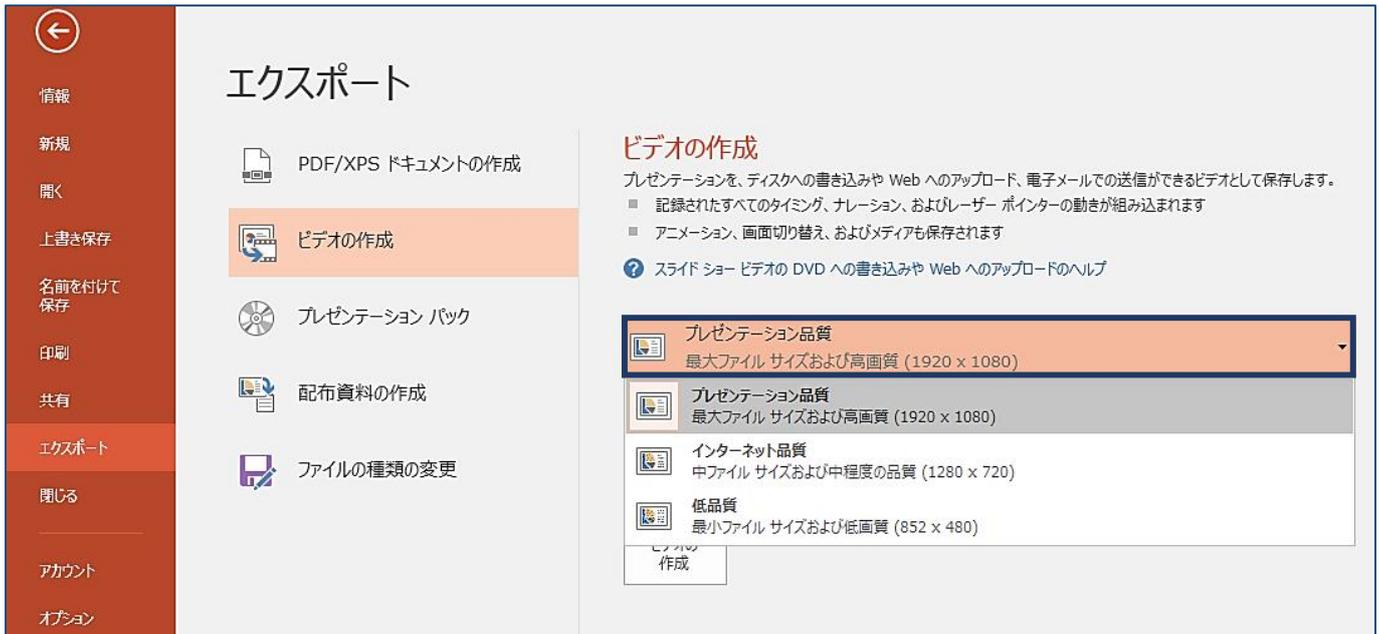
画面左上 [ファイル] をクリックします。

4 ビデオの作成

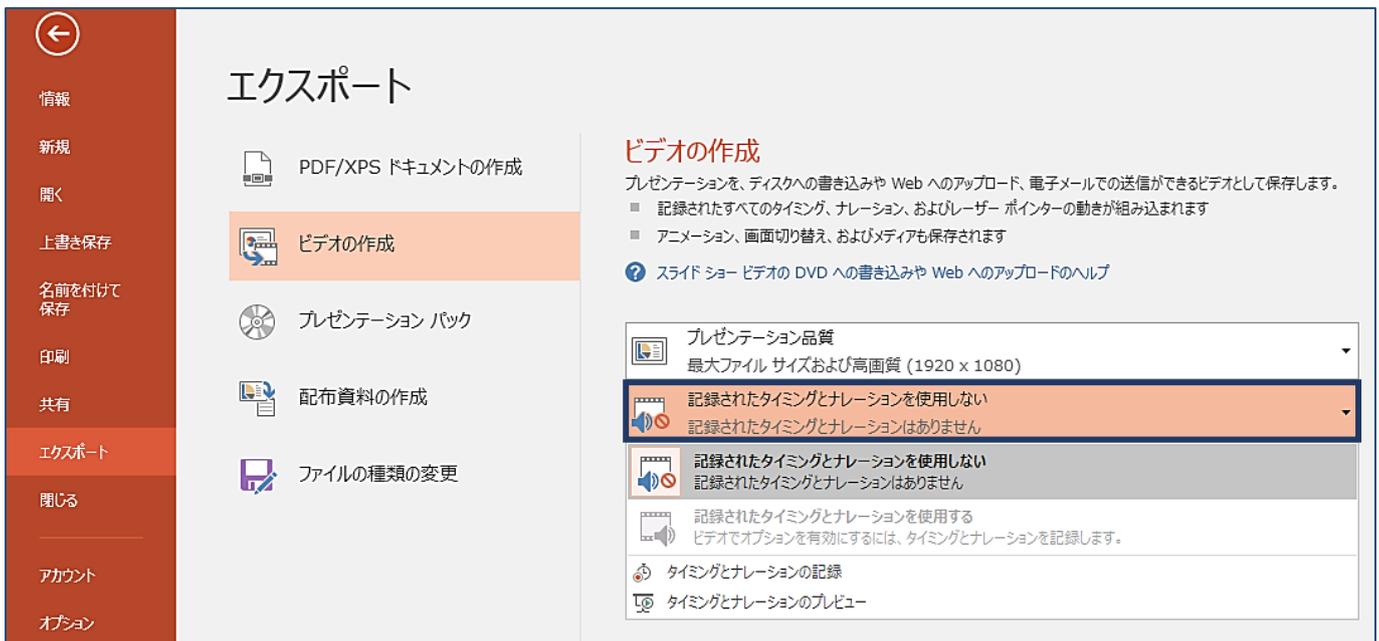


[エクスポート] → [ビデオの作成] をクリックします。

5 ビデオの品質とナレーションの使用



[ビデオの作成] 見出しの最初のドロップダウン ボックスで、必要なビデオの品質を選びます。これは完成したビデオの解像度に関係します。ビデオの品質が高いほど、ファイルのサイズが大きくなります。



必要に応じて、[ビデオの作成] の下の 2 番目のドロップダウンボックスで、プレゼンテーションにナレーションとタイミングが含まれているかどうかを示します。

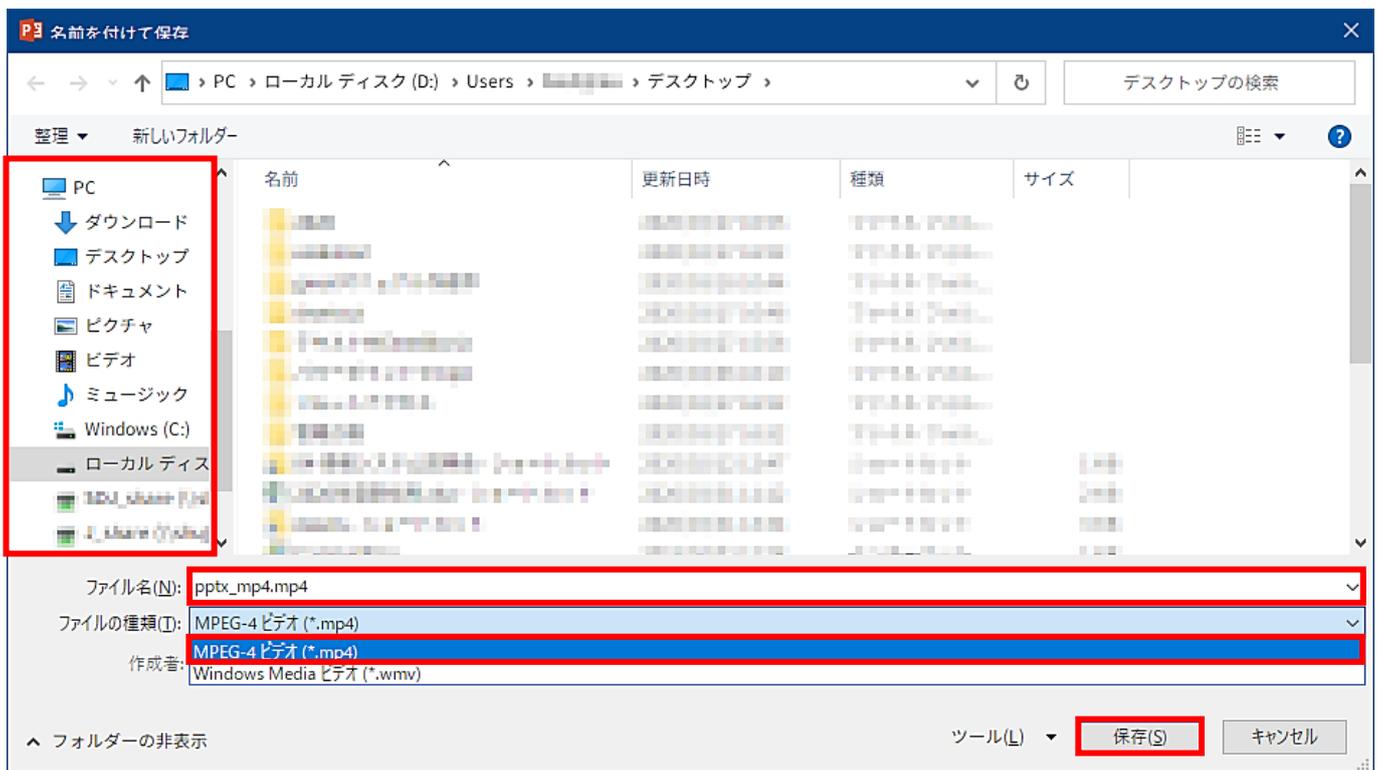
■ 記録されたタイミングとナレーションを使用しない

→ <各スライドの所要時間(秒)> で設定した速度が一枚当たりの秒数として適用されます。

■ 記録されたタイミングとナレーションを使用する

→ 各スライドに設定したアニメーションや画面の切り替えのタイミングが有効なままスライドが流れます。

6 ビデオの作成



前項⑤で[ビデオの作成] をクリックします。

別窓が表示されますので、[ファイル名] ボックスにビデオのファイル名を入力し、このファイルを保存するフォルダーを参照してから [保存] をクリックします。

[ファイルの種類] ボックスで、[MPEG-4 ビデオ] を選び、[保存] をクリックします。

Mac をお使いの方

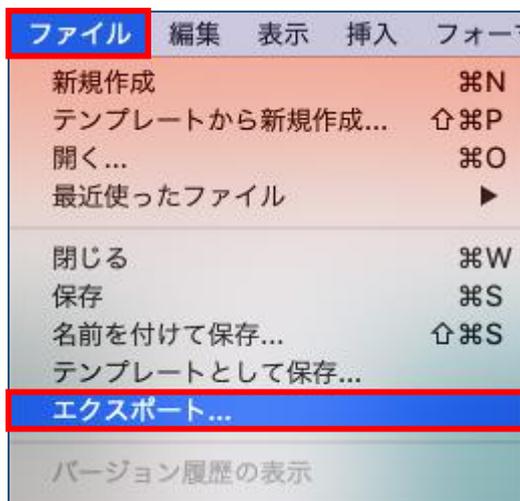
上記 Windows と同様の方法でスライドショー動画が作成できます。

ただし、PowerPoint 2016 for Mac をお使いの方、Office365 サブスクリプションを購入されていない方は、スライドショーの動画ファイル形式での保存ができません。(スライドショーへのナレーションの録音までは同様に行ってください。)

動画ファイル形式での保存を行う場合は、PowerPoint 2019 for Mac、Office365 サブスクリプションを使用してください。

iPad、iPhone にインストールした PowerPoint ではスライドショー動画作成の機能がありませんので Mac の PC にインストールされた PowerPoint 2019 for Mac、Office365 サブスクリプションをご利用ください。

① [ファイル] をクリック → [エクスポート]



② [ファイル形式] をクリック → MP4 へ



③ 各種設定 → [エクスポート]

エクスポートの形式: プレゼンテーション1.mp4
タグ:
場所:

オンラインの場所

品質: プレゼンテーション品質
幅: 1,920 高さ: 1,080

タイミング: 記録されたタイミングとナレーションを使用する
タイミングをセットせずに各スライドで費やした時間 (秒):

品質：目的のビデオ品質を選択します。**プレゼンテーション品質**、**インターネット品質**、または**低品質**。
ビデオの品質が高いほど、ファイルのサイズが大きくなります。

タイミング：

- 記録されたタイミングとナレーションを使用する
→ 各スライドに設定したアニメーションや画面の切り替えのタイミングが有効なままスライドが流れます。
- 記録されたタイミングとナレーションを使用する をしない
→ <タイミングをセットせずに各スライドで費やした時間(秒)>で設定した速度が一枚当たりの秒数として適用されます。